

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2020年4月3日

野良仕事

ほっとする光景

先週は我が家、零細農家の稻の種まきのお話で、苗箱の数は430枚くらいでした。横芝光町、越川大助さんは組合をつくり共同作業で数軒分の種まきを行うので動かす箱数は5000枚近いとか。桁違いとはこの事。前日に種まきをした苗箱を大型ハウスに運び、約1か月かけて立派な苗に育てます。苗箱を積んだ軽トラックが中まで入り、『苗箱を並べるための専用の機械』に入れると、ゆっくりとベルトでおろされ、地面に並んでいきます。(ちなみに我が家は手で運び、腰をかがめて1枚ずつ並べます。)専用の機械なので、一年間でこの時にしか使わないときき、驚いて見ていると「農業の機械なんてそんなもんなのよ。」と越川さん。この機械に苗箱をセットする作業を、小中学校がお休みだった娘さんや甥っ子、姪っ子が手伝っていました。

「学校と農作業とどっちが楽しい?」と質問すると「学校!」と即答。それでも子供ながらに作業の流れを考えて「こっち持って」「はい、どうぞ」など声をかけながら、にぎやかな様子です。1枚4kgほどあるのですが、みんなでやれば重さも忘れます。「これが家族農業の良さじゃないかな。」と越川さんは言います。おばあちゃんが均した地面に、おじいちゃんが苗箱を運び、父と子供たちが並べる。なにかと緊張感の抜けない日々の中で、ほっとする光景に出会えました。(B)

